

総務委員会

令和8年5月25日(月)
10時00分～時分
全員協議会室

【委員】沖田委員長、柳楽副委員長、
戸津川委員、岡本委員、佐々木委員、西田清久委員、川神委員

【議長・委員外議員】

【執行部】

(総務部) 山根総務部長、岸本市長公室長
(地域政策部) 田中地域政策部長、大屋政策企画課長、原田定住関係人口推進課長、
大驛まちづくり社会教育課交通対策室長

【事務局】森井書記

【議題】

1 執行部報告事項

- (1) 市長と語る会について 【市長公室】
- (2) 令和9年度国県重点要望事項について 【該当課】
- (3) 第3次浜田市総合振興計画策定方針について 【政策企画課】
- (4) 島根県立大学(浜田キャンパス)・リハビリテーションカレッジ島根・浜田ビューティーカレッジの入学者の状況について 【政策企画課】
- (5) 令和7年度空き家バンク制度利用状況について 【定住関係人口推進課】
- (6) 音楽を核とした定住促進事業(協同組合Biz. Coop. はまだ)の状況について 【定住関係人口推進課】
- (7) 令和7年度浜田市まちなか交流プラザ利用状況について 【定住関係人口推進課】
- (8) 令和7年度敬老福祉乗車券交付事業及び運転免許証自主返納等支援事業の申請実績等について 【まちづくり社会教育課交通対策室】
- (9) 令和7年度浜田市生活路線バス等の利用実績について 【まちづくり社会教育課交通対策室】
- (10) JR山陰本線(益田―出雲市間)利用促進協議会の設立について 【まちづくり社会教育課交通対策室】
- (11) その他
(配布物)
・浜田市地域協議会委員の選任について 【まちづくり社会教育課】

2 【取組課題】防災・減災について(委員間で協議)

- (1) 自主防災組織へのヒアリングについて
- (2) 防災士会へのヒアリングについて
- (3) その他

3 採択した請願の取扱いについて(委員間で協議)

4 継続審査とした請願の取扱いについて（委員間で協議）

5 その他

- (1) 6月定例会議における所管事務調査について
- (2) 行政視察について
- (3) その他

市長と語る会について

市長が、市民から直接、地域課題やまちづくりに対する意見を聴き、市政に反映するため、「市長と語る会」を開催します。

1 開催概要

	まちづくりセンター単位	団体・グループ単位
参加対象	原則として開催地区の住民	市内を活動拠点にする団体・グループ等
場所	各地区のまちづくりセンター	団体、グループの活動場所、その他団体が指定する場所など
開催頻度	月 2 回程度 (市から日程周知)	申込みによる
開催時間	1 時間程度、昼・夜開催は調整による	
人数	20 人 (応募多数の場合は先着順)	5 人以上
テーマ	主に、当該地区のまちづくりに関すること	申請団体等の希望による
参加方法	参加者個人が申込み (まちづくりセンター・申込みフォーム)	団体等の単位で申込み ※意見交換テーマと一緒に申込み
その他	原則公開 (録音・録画は不可)	—

2 今後の予定

広報はまだ 5 月号、各地区まちづくりセンターだより等で周知・募集中
 7 月からスタート

※まちづくりセンター単位：7 月～8 月には市内 5 地域で 1 か所ずつ開催

※グループ単位：申込状況に応じて開催

【7 月～8 月日程】

日 時	場 所	申 込 み
7 月 21 日 (火) 午後 2 時～	雲城まちづくりセンター	☎ 42-2076
7 月 21 日 (火) 午後 6 時 30 分～	浜田まちづくりセンター	☎ 22-9358
7 月 28 日 (火) 午後 6 時 30 分～	三隅まちづくりセンター	☎ 32-0500
7 月 31 日 (金) 午後 6 時 30 分～	安城まちづくりセンター	☎ 48-2917
8 月 5 日 (水) 午後 6 時 30 分～	今市まちづくりセンター	☎ 45-1757

※9 月以降の開催日程は、今後の広報はまだ及び各地区のまちづくりセンターだよりにてお知らせします。

令和9年度国県重点要望事項 総括表(県知事要望分)

部	No.	要 望 項 目
総務部	1	浜田港への海上自衛隊艦艇の物資補給基地誘致に向けた支援について
	2	浜田港の利活用促進の一環としての浜田海上保安部の機能強化について
	3	米軍機による低空飛行訓練の中止について
健康福祉部	4	医師・看護師等医療従事者確保対策について
市民生活部	5	国民スポーツ大会の開催に向けた運営経費の支援について
産業経済部 都市建設部	6	重要港湾浜田港について
都市建設部	7	高規格道路の整備促進について
	8	矢原川ダムの事業推進について
合 計		県知事要望 8件

総括表(部長以下要望分)

部	No.	要 望 項 目	備 考 (知事要望の有無)
総務部	9	浜田港への海上自衛隊艦艇の物資補給基地誘致に向けた支援について	○
	10		○
	11	米軍機による低空飛行訓練の中止について	○
健康福祉部	12	医師・看護師等医療従事者確保対策について	○
	13	浜田医療センター支援について	
		(1) 浜田医療センターに対する医療提供体制推進事業費補助金の交付について (2) 浜田医療センターに県(地方公共団体)からの医師派遣を行うための法改正について【新規】	
市民生活部	14	国民スポーツ大会の開催に向けた運営経費の支援について	○
産業経済部	15	基盤整備事業の推進について【新規】	
		【継続事業】	
		(1) 安城地区	
		(2) 杵東地区	
		(3) 久代地区	
		【新規事業】	
		(1) 小国地区 (2) 波佐地区	
都市建設部 ※一部産業経済部	16	重要港湾浜田港について	○
		(1) 岸壁整備等港湾機能の強化について	○
		(2) 荷役業務等の安全確保について	○
		①新北防波堤の整備促進について	○
		②浜田港の曳船(タグボート)の確保について	
		(3) 臨港道路福井長浜線の整備促進について	
		(4) 貿易振興に対する支援について	○
		①浜田港国際定期コンテナ航路の安定化について	○
		②浜田港振興会の運営支援について	
		③大型基幹貨物を取り扱う企業の誘致の推進について	
		(5) 浜田港港湾施設の使用料減免の拡充と継続について	
(6) 荷役ヤード確保への施策について【新規】	○		

部	No.	要 望 項 目	備考 (知事要望の有無)
都市建設部	17	高規格道路の整備促進について	○
		(1) 浜田自動車道4車線化の事業推進について	○
	18	矢原川ダムの事業推進について	○
	19	本庁・支所間を20分で連絡する道路整備について	
		(1) 主要地方道弥栄旭インター線 (小坂Ⅲ工区)	
		【継続事業分】	
		(1) 主要地方道	
		①弥栄旭インター線 (小坂A工区)	
		(2) 林道	
		①林道金城弥栄線	
	20	まちづくりを支援する県道の幹線道路ネットワークの早期完成と生活関連道路の整備について	
		(1) 主要地方道浜田八重可部線の改良について	
		(2) 主要地方道田所国府線の改良について	
		①本郷工区(浜田作木線交差点～木田境)	
		②戸川工区(新戸川橋～栃谷橋)	
		(3) 主要地方道浜田美都線の改良について	
		【継続事業分】	
		(1) 主要地方道	
		①主要地方道田所国府線 入野工区、上府工区	
		②主要地方道浜田八重可部線 後野工区、今市2工区、都川2工区、今福工区	
		③主要地方道浜田美都線 木都賀工区	
		④主要地方道桜江金城線 追原C工区	
		⑤主要地方道三隅美都線 河内工区	
	21	地域を支える道路網の整備について	
		(1) 一般国道186号(上来原～波佐地内)の路肩拡幅整備について	
		(2) 一般県道今福芸北線(久佐～小国)の改良について	
		(3) 一般県道一の瀬折居線(周布地～樺田原)の改良について	
(4) 一般県道浜田商港線(起点側～青川バス停)の交差点改良について			
(5) 一般県道三隅井野長浜線(美川小学校～第一牛谷橋)の整備について			
(6) 一般県道波佐芸北線の未改良区間の改良について【新規】			

部	No.	要 望 項 目	備 考 (知事要望の有無)
都市建設部	21	【継続事業分】	
		(1) 一般国道186号	
		①小国2工区 (新犬戻りトンネル)	
		(2) 県営農道整備事業 (農村地域防災減災事業)	
		①新開佐野地区 (緊急避難路整備)	
		②横山地区 (緊急避難路整備)	
		(3) 一般県道等	
		①一般県道黒沢安城浜田線 長見工区	
		②一般県道三隅井野長浜線 三隅工区、井野工区	
		③一般県道美川周布線 穂出工区	
④一般県道一の瀬折居線 室谷工区			
都市建設部	22	安全で安心して暮らせる県土を創る治水対策の推進について	
		【継続事業分】	
		(1) 周布川	
		①河口周辺	
		②その他	
		(2) 下府川	
		(3) 唐鑑川	
	23	県民の生命や財産を守る砂防事業等の推進について	
		【継続事業分】	
		(1) 急傾斜地崩壊対策事業について	
		①黒川地区	
		(2) 砂防事業について	
		①本郷川	
		②治和川	
		(3) 地すべり対策事業について	
	①高野地区地すべり対策事業		
	②浜田第四期地区地すべり対策事業		
24	海岸保全事業の促進について		
	【継続事業分】		
	三隅港海岸 (湊浦地区)		
合 計		部長以下要望16件 (知事要望8件を含む)	

令和 9 年度国県重点要望事項

1 浜田港への海上自衛隊艦艇の物資補給基地誘致に向けた支援について

【要望先：防災部】

浜田港につきましては、国指定の重要港湾として整備され、官民一体となって利用促進に取り組んでいるところです。

日頃の海上自衛隊艦艇の公開や災害時における隊員の迅速かつ献身的な救助活動により、自衛隊に対する信頼感は厚く、海上自衛隊艦艇の浜田港寄港は、市民にとって大きな安心につながるものと思っております。また、地元経済にとりましても、海上自衛隊艦艇の物資の補給など、非常に大きな効果があるものと考えております。

つきましては、海上自衛隊艦艇の物資補給基地の誘致に向けてご支援を賜りますよう格別のご高配をお願いします。

2 浜田港の利活用促進の一環としての浜田海上保安部の機能強化について

【要望先：防災部】

島根県におかれましては、重要港湾浜田港の整備に取り組んでいただき、深く感謝申し上げます。浜田市としましても、官民一体となって利活用促進に取り組んでいるところです。

浜田港には、現在、海上保安庁の浜田海上保安部が設置され、1,000t 型巡視船などが配備されております。

海上保安庁におかれましては、海上保安体制の強化を掲げ、今後、日本海側の海上監視体制の強化にも取り組まれる予定であります。

つきましては、浜田港の更なる利活用促進のため、是非とも、巡視船等の大型化、隻数の増強など、浜田海上保安部の機能強化に向けてご支援を賜りますよう格別のご高配をお願いします。

3 米軍機による低空飛行訓練の中止について

【要望先：防災部】

知事におかれましては、米軍機の低空飛行訓練による騒音問題につきまして、米軍機騒音等対策協議会とともに外務省、防衛省に要望活動を行っていただき、深く感謝を申し上げます。

しかしながら、米軍機の低空飛行訓練による住民への耐え難い騒音被害は引き続き発生しており、事故への不安に悩まされるなど、日常生活に様々な悪影響を与えています。

この現状に鑑み、低空飛行が行われないよう、米軍関係当局に対し、更なる強力な対応をされるよう、国への働きかけをお願いします。

また、騒音被害が解消されるまでの間、国が責任を持って騒音や安全性に対する住民の不安を軽減するための措置をとることについても、引き続き働きかけをお願いします。

4 医師・看護師等医療従事者確保対策について

【要望先：健康福祉部】

医師をはじめとする医療従事者につきまして、奨学金制度や島根大学との連携、しまね地域医療支援センターのキャリア支援など、様々な取組を行っていただき、深く感謝を申し上げます。

浜田圏域の勤務医師の充足率については、令和 5 年は 85.2%、令和 6 年は 82.5%、令和 7 年は 83.7%と推移しておりますが、令和 6 年、令和 7 年については、県全体の充足率を下回っている状況です。

当市では、依然として中核病院における診療科の偏在が顕著であり、常勤医のいない診療科もあり、住民の不安は払拭されておられません。加えて、地域の医療を支える開業医の高齢化も進み、特に市街地での医療機関の閉院が続いている状況であり、一次医療体制の維持が危ぶまれるところです。

令和 7 年度末の浜田准看護学校の廃校を受け、浜田医療センター附属看護学校は、市内唯一の看護職員養成校となり、その存在意義は益々重要となっております。附属看護学校については、国立病院機構本部の意向により運営の見直しが引き続き検討されており、当市としては、看護学校に通う学生に対する奨学金制度の充実や附属看護学校存続のための支援を島根県にも応援していただき、学生の確保に努めているところであります。

地域の特性を踏まえた医師確保計画が着実に実行されることをお願いするとともに、医療従事者の確保や診療科の偏在の解消につきまして、引き続きご支援を賜りますよう格別のご高配をお願いいたします。

5 国民スポーツ大会の開催に向けた運営経費の支援について

【要望先：島根かみあり国スポ・全スポ局】

2030 年に第 84 回国民スポーツ大会が島根県で開催され、本市では正式競技 5 競技 6 種目、公開競技 1 競技を開催する予定としています。

国民スポーツ大会の開催に当たっては、各競技会場の市町村において、運営経費や施設整備費が大きな負担となっています。

とりわけ近年は、物価高騰や地球温暖化による熱中症対策のために大会運営に係る経費が増加しており、今後、市町村の負担が更に増える可能性があることから、財政的な支援について格別のご高配をお願いいたします。

6 重要港湾浜田港について

【要望先：土木部（一部商工労働部）】

日本海側拠点港の浜田港は、県内唯一の国際貿易港として重要な役割を担っております。更なる物流機能の向上に格別のご高配をお願いいたします。

(1) 岸壁整備等港湾機能の強化について

浜田港の岸壁は、近年の急速な船舶の大型化に対応できていない状況となっており、コンテナ船社からは 1,000TEU 積みコンテナ船の寄港を可能とする施設整備が求められています。

つきましては、船舶の大型化に対応するため、できるだけ早期に岸壁整備等港湾機能の強化を促進していただきますようお願いいたします。

(2) 荷役業務等の安全確保について

新北防波堤の整備促進について、引き続きのご支援をお願いいたします。

(3) 貿易振興に対する支援について

【要望先：商工労働部】

浜田港は島根県内唯一の国際貿易港であり、平成 13 年 3 月に国際定期コンテナ航路が開設されたことにより、石見地域はもとより、島根県の経済活性化に大きく貢献しているものと認識しております。

新型コロナウイルス禍以降、浜田港のコンテナ貨物取扱量は増加に転じ、令和 7 年度は過去最高を更新しました。

一方、荷主企業が、働き方改革とカーボンニュートラルに向けた物流改革や、BCP の観点から、より近い港の活用を検討される中、浜田港にとりましては国際航路の信頼と安定に向けた「定期航路週 2 便化」が喫緊の課題となっています。

「定期航路週 2 便化」の復活のためには、更なるコンテナ取扱貨物量の増加が急務であり、地域経済を支える物流拠点「浜田港」への、引き続きのご支援をよろしく申し上げます。

(4) 荷役ヤード確保への施策について【新規】

【要望先：土木部・商工労働部】

浜田港のコンテナ貨物取扱量が年々増加する中、これに伴う荷役ヤードの不足が深刻化しています。このままでは取扱量は頭打ちとなり、複便化等による安定的な航路の実現ができ

なくなることを危惧しています。荷役ヤードの確保につきましては、長期的な港湾整備と並行し、緊急的な施策の検討をお願いします。

7 高規格道路の整備促進について

【要望先：土木部】

島根県におかれましては、浜田自動車道 4 車線化の事業推進に多大なるご支援をいただき感謝申し上げます。

(1) 浜田自動車道 4 車線化の事業推進について

令和 4 年度から事業化となった浜田自動車道（大朝 IC～旭 IC 間）の一部区間につきまして、事業推進に格別のご高配をお願いします。

また、優先整備区間に選定されている他区間につきましても、円滑な移動や大雪時の確実な通行を確保するため、早期事業採択に向けて引き続きご支援いただきますようお願いいたします。

8 矢原川ダム事業の推進について

【要望先：土木部】

矢原川ダム事業につきましては、現在付替道路工事やダムサイトの地質調査・ダム本体の設計等が進められており、防災安全のためにも地元住民が大きな期待を寄せています。引き続き、早期完成に向けて格別のご高配をお願いします。

《以上県知事要望分》

《ここから部長以下要望分》

9 浜田港への海上自衛隊艦艇の物資補給基地誘致に向けた支援について

【要望先：防災部】

※知事要望に同じ

10 浜田港の利活用促進の一環としての浜田海上保安部の機能強化について

【要望先：防災部】

※知事要望に同じ

11 米軍機による低空飛行訓練の中止について

【要望先：防災部】

※知事要望に同じ

12 医師・看護師等医療従事者確保対策について

【要望先：健康福祉部】

※知事要望に同じ

13 浜田医療センター支援について

【要望先：健康福祉部】

日ごろからの浜田医療センターをはじめとする浜田市の医療機関への支援につきまして、深く感謝を申し上げます。

さて、浜田医療センターにおかれましては、浜田圏域の中核病院として必要な医療の提供を継続していくための経営改善等を積極的に実施しておられますが、昨今の人口減少などの影響もあり、厳しい経営が続いております。

つきましては、当センターが今後も地域の中核病院としての機能を維持できるよう次の2点について、格別のご高配をお願いいたします。

(1) 浜田医療センターに対する医療提供体制推進事業費補助金の交付について

浜田医療センターの三次救急医療体制を維持するためにも、国の医療提供体制推進事業費補助金の県負担分の財源を確保し、当センターへの交付をお願いします。

(2) 浜田医療センターに県（地方公共団体）からの医師派遣を行うための法改正について

【新規】

浜田医療センターでは、総合診療科（内科）など診療科によっては、今後、県からの派遣を必要とすることも想定されるため、「公益法人等への一般職の地方公務員の派遣等に関する法律第2条第1項第3号の法人を定める政令」に独立行政法人国立病院機構に属する医療機関を追記していただくよう、国に対しての働きかけを行ってまいります。

県におかれましても働きかけを後押しいただくとともに、政令の改正が実現した際には、県の「公益的法人等への職員の派遣等に関する条例」の改正について、速やかに対応いただきますよう重ねてお願いします。

14 国民スポーツ大会の開催に向けた運営経費の支援について

【要望先：島根かみあり国スポ・全スポ局】

※知事要望に同じ

15 基盤整備事業の推進について【新規】

【要望先：農林水産部】

日頃より農林行政にご支援いただき深く感謝申し上げます。

さて、浜田市においては持続的な農業を目的とし基盤整備を推進しております。

つきましては、継続地区における早期完成及び新規地区の事業実施に向け、次の地区の整備について格別のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

【継続事業分】

- (1) 安城地区【弥栄】
- (2) 杵束地区【弥栄】
- (3) 久代地区【浜田】

【新規事業分】

- (1) 小国地区【金城】
- (2) 波佐地区【金城】

16 重要港湾浜田港について

【要望先：土木部（一部商工労働部）】

日本海側拠点港の浜田港は、県内唯一の国際貿易港として重要な役割を担っております。更なる物流機能の向上に格別のご高配をお願いします。

(1) 岸壁整備等港湾機能の強化について

※知事要望に同じ

(2) 荷役業務等の安全確保について

① 新北防波堤の整備促進について

※知事要望に同じ

② 浜田港の曳船（タグボート）の確保について

【要望先：商工労働部】

1万トン以上の船舶の離着岸の際には、運航の安全確保のために基本的に2隻の曳船を必要としますが、浜田港には1隻しか常駐していません。

現在は必要に応じて、三隅港からの応援により対応していますが、三隅火力発電所2号機の完成によりその確保は年々難しくなっており、より遠方からの応援を要請せざるを得ない状況となっています。

曳船は港にとって極めて重要なインフラであり、曳船の不足により浜田港へ大型船の入出港が困難となることが無いよう、曳船の確保に向けた支援を賜りますようお願いいたします。

(3) 臨港道路福井長浜線の整備促進について

福井ふ頭と長浜ふ頭を結ぶ重要な臨港道路であり、早期に完成するよう引き続きの整備促進をお願いします。

(4) 貿易振興に対する支援について

【要望先：商工労働部】

島根県内唯一の国際貿易港である浜田港の利用促進のため、次の点につきまして、ご支援賜りますよう格別のご高配をお願いします。

① 浜田港国際定期コンテナ航路の安定化について

※知事要望に同じ

② 浜田港振興会の運営支援について

事業者のニーズを踏まえた集荷対策には、効果的なポートセールス体制の整備を行い、航路の維持及び安定運航を確保することが必要です。また、浜田港港湾計画の実現には、取扱貨物量の増加に向けた取組が不可欠であり、その中心となる浜田港振興会の活動は重要性を増しています。

さらに、浜田港へのクルーズ客船の寄港が増加し、外国船籍のクルーズ客船の寄港も期待される中、誘致活動やおもてなし、インバウンド対応には、島根県及び石見圏域の関係者ととともに、重点的に取り組む必要があります。

つきましては、浜田港振興会の役割にご理解をいただき、引き続き運営に対する人的・財政的ご支援をお願いします。

③ 大型基幹貨物を取り扱う企業の誘致の推進について

平成 29 年に改訂された浜田港港湾計画では、長浜地区、福井地区の新規岸壁の造成等が示されています。この計画の実現により、大型船の入港が可能となり、国際定期コンテナ航路の週復便化など荷主に対する利便性を向上するため、より多くの貨物の取扱いが必要となります。

つきましては、県西部地域において、大型基幹貨物（ベースカーゴ）を取り扱っていただける企業の誘致を推進していただきますようお願いいたします。

(5) 浜田港港湾施設の使用料減免の拡充と継続について

浜田港の港湾施設使用料は、利用促進のため各種減免措置を講じていただき感謝申し上げます。

財政上の困難さがあると承知しておりますが、原木等の国内移出入貨物については従来どおりの使用料であり、県外他港と比較し高い状況から、輸出入と同様に減免要望を利用者から頂戴しております。

県外他港との競争力を高め、取扱貨物量の増加と港の利用促進を図るため、更なるご配慮を賜りますようお願いいたします。

(6) 荷役ヤード確保への施策について【新規】

【要望先：土木部・商工労働部】

※知事要望に同じ

17 高規格道路の整備促進について

【要望先：土木部】

※知事要望に同じ

18 矢原川ダムの事業推進について

【要望先：土木部】

※知事要望に同じ

19 本庁・支所間を 20 分で連絡する道路整備について

【要望先：土木部】

島根県におかれましては、国道、主要地方道及び一般県道等の幹線道路整備を継続的に実施していただき厚くお礼を申し上げます。

地域間交流の活性化を図るため、次の区間の整備について、格別のご高配をお願いいたします。

(1) 主要地方道弥栄旭インター線（小坂Ⅲ工区）【弥栄】

高内～弥栄大橋間について、トンネルによる計画策定をお願いいたします。

【継続事業分】

次の区間について事業の促進をお願いいたします。

(1) 主要地方道

①弥栄旭インター線（小坂 A 工区）【弥栄】

(2) 林道

①林道金城弥栄線【金城・弥栄】

20 まちづくりを支援する県道の幹線道路ネットワークの早期完成と生活関連道路の整備について

【要望先：土木部】

幹線道路は、市民生活や経済活動を営む上で重要な役割を担う道路です。農林道と連結した幹線道路ネットワークの早期完成と生活関連道路の効率的な整備について、格別のご高配をお願いいたします。

(1) 主要地方道浜田八重可部線の改良について【旭】

岩畳工区の完了に伴い、赤谷工区（畑喰谷工区から改良済区間まで約 1 km）の改良整備について、事業化の検討をお願いいたします。

(2) 主要地方道田所国府線の改良について

次の区間の改良整備について、事業化の検討をお願いします。

①本郷工区（浜田作木線交差点～木田境）【旭】

②戸川工区（新戸川橋～栃谷橋）【旭】

幅員が狭く離合できないため、早期事業化をお願いします。

(3) 主要地方道浜田美都線の改良について【弥栄】

木都賀地内から市境までの改良整備について、格別のご高配をお願いします。

【継続事業分】

幹線道路は、市民生活や経済活動を営む上で重要な役割を持つ道路です。次の区間について事業の促進をお願いします。

(1) 主要地方道

①主要地方道田所国府線

・入野工区【金城】

・上府工区（吉原橋付近～府城センター付近）【浜田】

②主要地方道浜田八重可部線

・後野工区（佐野～国道 186 号）【浜田】

・今市 2 工区（丸原地区～今市地区）【旭】

当該区間は、過去に死亡事故が発生した箇所であり、地域住民も安全安心な道路整備を要望しており、早期完成をお願いします。

・都川 2 工区【旭】

・今福工区（久佐川橋付近）【金城】

③主要地方道浜田美都線 木都賀工区【弥栄】

④主要地方道桜江金城線 追原 C 工区【金城】

⑤主要地方道三隅美都線 河内工区【三隅】

21 地域を支える道路網の整備について

【要望先：土木部】

安全で安心して暮らせるまちづくりの実現に向けた道路網整備について、格別のご高配をお願いします。

(1) 一般国道 186 号（上来原～波佐地内）の路肩拡幅整備について【金城】

当区間は路肩幅員が狭いため、降雪時に大型車両同士の離合に注意を要する場面が多く発生します。また、道路側溝が路面よりも低い位置にあるため、車両の脱輪や路外逸脱の危険性が高い箇所でもあります。安全通行のための改善策として、上来原工区に引き続き、広島方面にむけ市道取付までの約 350mにつきまして、歩道を整備していただきますようお願いします。

(2) 一般県道今福芸北線（久佐～小国）の改良について【金城】

本路線は小国地区の生活道路であり、今福地区と小国地区を結ぶ幹線道路です。幅員狭小区間と落石危険箇所が多く通行に支障があるため、局部改良も踏まえた対応について検討をお願いします。

(3) 一般県道一の瀬折居線（周布地～櫛田原）の改良について【三隅】

当区間は、狭小で交通難所となっているため、この区間のトンネルによる整備について検討をお願いします。

(4) 一般県道浜田商港線（起点側～青川バス停）の交差点改良について【浜田】

本路線の起点側交差点部分（国道 9 号合流部）は、それまでの 2 車線から 1 車線へ幅員が狭くなっているため、車両の離合が困難な状況となっています。特に大型車が通行する際は、対向車が交差点に進入できず、交通の流れが阻害される場面が多発しています。つきましては、交差点の改良に向けた検討をお願いします。

(5) 一般県道三隅井野長浜線（美川小学校～第一牛谷橋）の整備について【浜田】

当区間は、通学路として狭小であり、歩行者の安全通行の改善策として、拡幅・歩道整備をしていただきますようお願いします。

(6) 一般県道波佐芸北線の未改良区間の改良について【金城】【新規】

鉄屋橋前後の約 330m 及び宇野屋橋前後の約 30m の区間は、幅員が狭く、また見通しが悪いことから、過去に交通事故が発生しています。令和 6 年度に完了した波佐工区に引き続き、拡幅整備をしていただきますようお願いします。

【継続事業分】

安全で安心して暮らせるまちづくりの実現に向け、次の区間について事業の促進をお願いします。

(1) 一般国道 186 号

①小国 2 工区（新犬戻りトンネル）【金城】

(2) 県営農道整備事業（農村地域防災減災事業）

①新開佐野地区（緊急避難路整備）【浜田・金城】

②横山地区（緊急避難路整備）【浜田】

(3) 一般県道等

①一般県道黒沢安城浜田線 長見工区（名古田橋～新福永橋）【浜田】

②一般県道三隅井野長浜線

・三隅工区（三隅美都線～三隅神社～浄蓮寺峠）【三隅】

・井野工区（下今明～小原）【三隅】

③一般県道美川周布線 穂出工区【浜田】

④一般県道一の瀬折居線 室谷工区【三隅】

22 安全で安心して暮らせる県土を創る治水対策の推進について

【要望先：土木部】

【継続事業分】

河口堆積土砂等の浚渫について適時適切な実施をお願いします。

(1) 周布川 【浜田】

①河口周辺

冬場の波浪による、導流堤から右岸側への堆砂を原因として、係留施設への出入りの障害や水位上昇に伴う小河川の氾濫が発生するため、定期的な浚渫による河口閉塞の解消をお願いします。

②その他

近年、氾濫注意水位を超過することがあります。地域住民の安全・安心の確保のため、引き続き河川内の樹木伐採や河道掘削を進めていただくようお願いします。

(2) 下府川 【浜田】

掘込河道で計画された下府川下流部は、海浜部からの流砂により河口埋塞の恐れがあります。定期的な浚渫をお願いします。

(3) 唐鐘川 【浜田】

波浪により河口が閉塞し流水停滞が発生するため、定期的な浚渫をお願いします。

(4) 久代川 【浜田】

久代川の河口法線（海浜部）は大きく東側へ蛇行している上に、流砂による埋塞のため、豪雨時には排水不良による床下浸水が発生しています。定期的な浚渫による河積断面の確保をお願いします。

(5) 三隅川 【三隅】

三隅川河口部は、波浪による海浜部からの流砂により河口閉塞の恐れがあります。定期的な浚渫による河積断面の確保をお願いします。

23 県民の生命や財産を守る砂防事業等の推進について

【要望先：土木部】

【継続事業分】

住環境の安全と県民の生命、財産を守る砂防事業及び急傾斜地崩壊対策事業について、引き続き事業の促進をお願いします。

(1) 急傾斜地崩壊対策事業について【浜田】

①黒川地区

(2) 砂防事業について【浜田】

①本郷川 ②治和川

(3) 地すべり対策事業について【浜田】

①高野地区地すべり対策事業

②浜田第四期地区地すべり対策事業

24 海岸保全事業の促進について

【要望先：土木部】

島根県におかれましては、継続的に海岸保全事業を実施していただき感謝申し上げます。

【継続事業分】

三隅港海岸（湊浦地区）の海岸保全事業について、引き続き事業の推進をお願いします。

第 3 次浜田市総合振興計画策定方針について

1 計画策定について

(1) 趣旨・背景

- 本市では、現行の「第 2 次浜田市総合振興計画 後期基本計画」（令和 4 年度～令和 8 年度）に基づき、総合的かつ計画的な政策・施策を推進してきました。
- 本市の人口減少は今後も進行することが予想され、社会経済情勢が日々大きく変容する中、今後の市政運営には、益々多様化する住民ニーズへの対応や複雑化する諸課題の解決が求められています。
- こうした中、現行計画が令和 8 年度をもって終了することから、今後の市政運営の基本方針となる新たな「浜田市総合振興計画」を策定するものです。

(2) 計画の名称

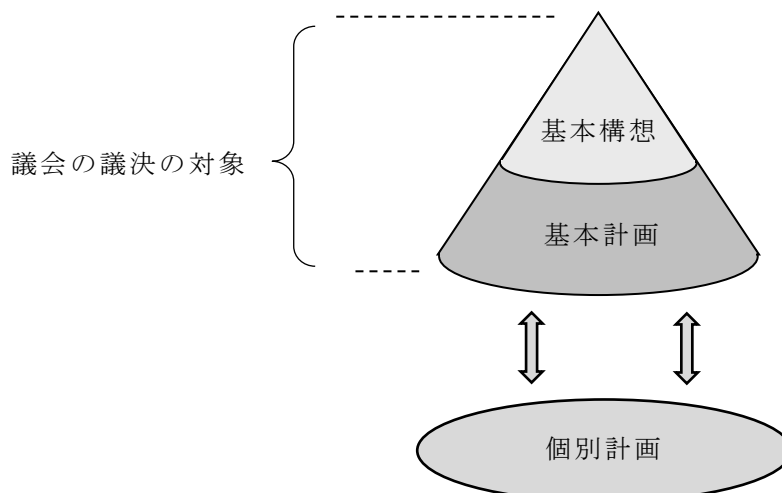
「第 3 次浜田市総合振興計画」とし、今後検討します。

(3) 計画の期間

- 計画期間は、市長の任期（4 年）に合わせて策定し、計画期間内に方針変更があった場合は、一部を変更することができるものとします。
- 原則として就任後 2 年以内に策定することとします。

2 計画の構成と期間

計画の構成は、主に「基本構想」、「基本計画」とします。



(1) 基本構想

- ・ 本市の将来像を検討し、その実現に向けたまちづくりの基本理念・基本目標を定めます。

〔目標年次〕 概ね 8 年後の令和 16 年度

(2) 基本計画

- ・ 基本構想を実現するための基本的なまちづくりの政策（大綱）を示し、各分野の課題や施策を総合的に体系化して示します。
- ・ 各分野の施策において、その成果指標となる「代表的な目標」を設定します。
- ・ 計画期間は、市長の任期（4年）に合わせることを基本とし、前期基本計画において調整します。

〔計画期間〕 前期基本計画 令和 9 年度～令和 12 年度（4年間）

後期基本計画 令和 13 年度～令和 16 年度（4年間）

3 計画策定の視点

(1) 市民と行政とのまちづくりの羅針盤となる計画づくり

市民と行政との”協働によるまちづくり”を推進するため、より分かりやすい市の運営指針として策定します。

(2) 市民等の意見を反映した計画づくり

浜田市総合振興計画審議会に諮問し、市民や地域、各種団体等、より多くの方の意見を聴きながら、施策等に反映できる計画とします。

〔市民委員会、ワークショップ、市民アンケート、子どもアンケート、シンポジウム、各種団体ヒアリング、パブリックコメント〕

(3) ウェルビーイングの視点を取り入れた計画づくり

市民の幸福度を高めることを重視した計画を策定します。

(4) 各種計画等との整合

ア まち・ひと・しごと創生総合戦略との整合

第 2 次総合振興計画後期基本計画と同様に「総合戦略」の内容を含んだ計画とします。

イ その他個別計画との整合

その他、各分野の個別計画と整合した計画とします。

(5) 進捗管理と評価の仕組みづくり

毎年の進捗状況の評価を行い、今後の施策や事務事業を見直すことができる計画とします。

4 策定体制

(1) 市民参画体制

浜田市総合振興計画審議会

識見者や各種団体・関係機関者等で構成する「浜田市総合振興計画審議会」に諮問し、多様な観点を盛り込んだ計画案（答申）を基に策定します。

(2) 庁内体制

浜田市総合振興計画策定委員会

市長、副市長、教育長、部長級を構成員とし、計画案を作成します。

5 スケジュール（予定）

令和8年 5月	第1回総合振興計画審議会開催（12月まで全7回程度）
5月～9月	市民意見の聴取・集約、市議会の意見聴取
10月	計画答申案の中間報告、市議会への中間報告・意見聴取
11月	パブリックコメント（意見公募）
12月下旬	計画答申
令和9年 3月	議会の議決

島根県立大学（浜田キャンパス）・リハビリテーションカレッジ島根・
 浜田ビューティーカレッジの入学者の状況について

1 島根県立大学（浜田キャンパス）の入学者の状況について

(1) 入学者数の状況（令和8年4月1日現在）

ア 全体

区分	国際関係学部		地域政策学部		合計	
	募集定員	入学者数	募集定員	入学者数	募集定員	入学者数
一般選抜(前期)	50名	52名	60名	51名	110名	103名
一般選抜(後期)	10名	14名	20名	34名	30名	48名
総合型選抜	25名	32名	20名	39名	45名	71名
特別選抜	若干名	3名	若干名	1名	若干名	4名
学校推薦型選抜	5名	3名	40名	24名	45名	27名
欠員補充第二次募集	—	—	—	—	—	—
合計	90名	104名	140名	149名	230名	253名

イ 内訳

(ア) 国際関係学部 国際関係学科

区分	国際関係コース		国際コミュニケーションコース	
	募集定員	入学者数	募集定員	入学者数
一般選抜(前期)	25名	31名	25名	21名
一般選抜(後期)	5名	5名	5名	9名
総合型選抜	10名	16名	15名	16名
特別選抜	若干名	3名	若干名	0名
学校推薦型選抜	5名	3名	—	—
欠員補充第二次募集	—	—	—	—
合計	45名	58名	45名	46名

(イ) 地域政策学部 地域政策学科

区分	経済経営・デジタル マネジメントコース		地域公共コース		地域づくりコース	
	募集定員	入学者数	募集定員	入学者数	募集定員	入学者数
一般選抜(前期)	20名	7名	25名	29名	15名	15名
一般選抜(後期)	5名	13名	10名	12名	5名	9名
総合型選抜	10名	19名	—	—	10名	20名
特別選抜	若干名	1名	若干名	0名	若干名	0名
学校推薦型選抜	10名	6名	10名	6名	20名	12名
合計	45名	46名	45名	47名	50名	56名

ウ その他

(ア) 令和7年度との比較

区分	令和7年度		令和8年度		増減	
	募集定員	入学者数	募集定員	入学者数	募集定員	入学者数
一般選抜(前期)	110名	82名	110名	103名	増減なし	+21名
一般選抜(後期)	30名	48名	30名	48名	増減なし	0名
総合型選抜	45名	72名	45名	71名	増減なし	▲1名
特別選抜	若干名	4名	若干名	4名	増減なし	0名
学校推薦型選抜	45名	40名	45名	27名	増減なし	▲13名
欠員補充第二次募集	—	—	—	—	—	—
合計	230名	246名	230名	253名	増減なし	+7名

(イ) 大学院 北東アジア開発研究科

区分	令和7年度	令和8年度	増減
入学者数	8名	6名	▲2名

(2) 出身地別入学者の状況

ア 島根県内

市町村名	令和6年度	令和7年度	令和8年度
松江市	18名	20名	18名
浜田市	10名	10名	9名
出雲市	23名	20名	19名
益田市	0名	5名	2名
大田市	5名	5名	2名
安来市	8名	4名	2名
江津市	2名	1名	2名
雲南市	4名	9名	6名
奥出雲町	1名	1名	3名
飯南町	2名	4名	0名
川本町	1名	0名	1名
美郷町	1名	2名	3名
邑南町	1名	2名	0名
津和野町	1名	2名	2名
吉賀町	0名	0名	2名
海士町	1名	0名	0名
西ノ島町	0名	0名	0名
知夫村	0名	0名	0名
隠岐の島町	1名	0名	0名
合計 (県内入学者割合)	79名 (33.5%)	85名 (34.6%)	71名 (28.1%)

イ 島根県外

都道府県名	令和6年度	令和7年度	令和8年度
広島県	30名	32名	33名
岡山県	12名	17名	12名
鳥取県	14名	15名	13名
兵庫県	10名	7名	16名
愛媛県	19名	12名	17名
上記以外	72名	78名	91名
合計	157名	161名	182名

2 リハビリテーションカレッジ島根の入学者の状況について

(1) 学科別入学者の状況（令和8年4月1日現在）

学科名	募集定員	令和6年度	令和7年度	令和8年度
理学療法学科	40名	21名	35名	23名
作業療法学科	40名	26名	21名	16名
言語聴覚学科	(～R5) 40名 (R6～) 30名	9名	14名	7名
合計	(～R5) 120名 (R6～) 110名	56名	70名	46名

(2) 出身地別入学者の状況

市名等	令和6年度	令和7年度	令和8年度
松江市	1名	2名	0名
浜田市	12名	10名	7名
出雲市	0名	0名	1名
益田市	10名	10名	8名
大田市	1名	0名	0名
安来市	0名	0名	0名
江津市	1名	0名	4名
雲南市	1名	1名	0名
上記以外	6名	0名	0名
県内合計	32名	23名	20名
広島県	2名	5名	2名
山口県	0名	2名	0名
京都府	0名	1名	0名
沖縄県	1名	2名	1名
香川県	1名	0名	0名
上記以外	0名	0名	2名
県外合計	4名	10名	5名
中国	18名	37名	21名
韓国	1名	0名	0名
台湾	1名	0名	0名
国外合計	20名	37名	21名
総合計	56名	70名	46名

3 浜田ビューティーカレッジの入学者の状況について

(1) 学科別入学者の状況（令和8年4月1日現在）

学科名	募集定員	令和6年度	令和7年度	令和8年度
専門課程(美容科)	20名	6名	6名	7名
高等課程(美容科)	20名	6名	0名	2名
通信課程(美容科)	40名	0名	33名	24名
合計	80名	12名	39名	33名

※ 修業年数は、専門課程が2年、高等課程及び通信課程が3年。

※ 高等課程入学者については、併せて浜田高等学校通信制に入学し、高校卒業資格を得られる仕組みを平成29年度から導入した。

※ 通信課程は令和6年度までは10月入学だったが、令和7年度から4月入学となった。

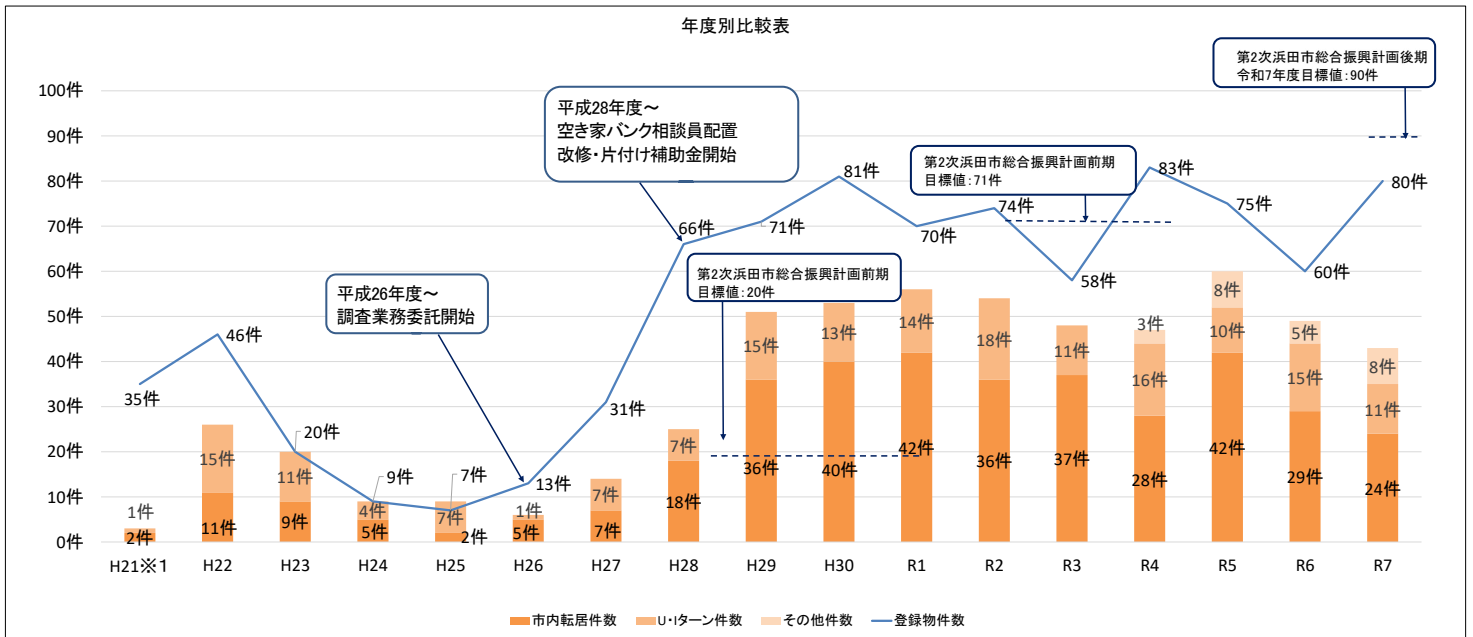
(2) 出身地別入学者の状況

市名等	令和6年度	令和7年度	令和8年度
松江市	0名	0名	0名
浜田市	8名	3名	5名
出雲市	0名	0名	0名
益田市	3名	1名	3名
大田市	1名	0名	0名
安来市	0名	0名	0名
江津市	0名	2名	0名
雲南市	0名	0名	0名
上記以外	0名	33名	25名
合計	12名	39名	33名

令和7年度空き家バンク制度利用状況について

1 令和7年度状況

- (1) 登録物件数：80件（対前年度20件の増）
前年度と比較し、20件の増加があり、過去3番目の登録物件数となった。
空き家物件数の増加及び空き家バンク制度の認知度向上から、市内外の空き家所有者等からの相談が増加傾向にある。
- (2) 入居物件数：43件（対前年度6件の減）
前年度と比較し、6件の減少があったものの、引き続き一定以上の入居物件数を維持している。
U・Iターンによる入居物件数も一定数維持しており、割合は約25%を占める。
U・Iターンによる入居物件の内訳は、Uターン1件、Iターン10件で、Iターンの利用が多い傾向にある。



2 年度別件数

(令和8年3月31日現在)

年度	H21※1	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	累計
登録物件数	35件	46件	20件	9件	7件	13件	31件	66件	71件	81件	70件	74件	58件	83件	75件	60件	80件	879件
抹消物件数※2	3件	19件	8件	5件	10件	4件	8件	21件	11件	11件	15件	26件	19件	17件	16件	20件	18件	231件
入居物件数	3件	26件	20件	9件	9件	6件	14件	25件	51件	53件	56件	54件	48件	47件	60件	49件	43件	573件
U・Iターン件数	1件	15件	11件	4件	7件	1件	7件	7件	15件	13件	14件	18件	11件	16件	10件	15件	11件	176件
市内転居件数	2件	11件	9件	5件	2件	5件	7件	18件	36件	40件	42件	36件	37件	28件	42件	29件	24件	373件
その他件数※3 (令和4年度～)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3件	8件	5件	8件	24件

※1 平成21年度は、平成21年9月2日から平成22年3月31日までの実績

※2 「抹消物件数」は、空き家バンク登録後において空き家バンク制度外の契約又は所有者都合により抹消したもの

※3 「その他件数」は、法人契約による会社利用等

3 地域別件数

(令和8年3月31日現在)

		浜田市					
		浜田	金城	旭	弥栄	三隅	
A 空き家バンク登録台帳 登録物件数 ①-②		648件	390件	60件	52件	17件	129件
	平成21年度(※1)	35件	5件	3件	7件	6件	14件
	平成22年度	46件	33件	2件	3件	2件	6件
	平成23年度	20件	8件	1件	2件	1件	8件
	平成24年度	9件	5件	0件	0件	0件	4件
	平成25年度	7件	3件	1件	2件	0件	1件
	平成26年度	13件	9件	1件	3件	0件	0件
	平成27年度	31件	23件	3件	1件	0件	4件
	平成28年度	66件	48件	5件	3件	0件	10件
	平成29年度	71件	40件	11件	3件	3件	14件
	平成30年度	81件	53件	3件	4件	3件	18件
	令和元年度	70件	39件	8件	6件	3件	14件
	令和2年度	74件	44件	10件	4件	1件	15件
	令和3年度	58件	38件	6件	5件	2件	7件
	令和4年度	83件	51件	4件	9件	0件	19件
	令和5年度	75件	57件	6件	2件	2件	8件
	令和6年度	60件	38件	6件	4件	2件	10件
	令和7年度	80件	49件	9件	5件	1件	16件
登録物件数累計 ①		879件	543件	79件	63件	26件	168件
抹消物件数(※2) ②		231件	153件	19件	11件	9件	39件
B 入居済物件数		573件	342件	55件	46件	16件	114件
	令和7年度	43件	28件	6件	3件	0件	6件
入居率 B/A		88.4%	87.7%	91.7%	88.5%	94.1%	88.4%
U・Iターン件数		176件	81件	14件	24件	9件	48件
	令和7年度	11件	4件	3件	2件	0件	2件
市内転居件数		373件	246件	39件	22件	5件	61件
	令和7年度	24件	19件	2件	1件	0件	2件
その他件数(※3)(令和4年度～)		24件	15件	2件	0件	2件	5件
	令和7年度	8件	5件	1件	0件	0件	2件
C 紹介物件数 (未入居物件数) A-B		75件	48件	5件	6件	1件	15件
賃貸希望物件		2件	1件	0件	0件	0件	1件
売買希望物件		69件	43件	5件	6件	1件	14件
賃貸又は売買希望物件		4件	4件	0件	0件	0件	0件

※1 平成21年度「登録物件数」は、平成21年9月2日から平成22年3月31日までの実績

※2 「抹消物件数」は、空き家バンク登録後において空き家バンク制度外の契約又は所有者都合により抹消したもの

※3 「その他件数」は、法人契約による会社利用等

音楽を核とした定住促進事業（協同組合 Biz. Coop. はまだ）の状況について

1 目的

若年層の定住促進及び人手不足の解消を目的として、国の特定地域づくり事業協同組合制度を活用し、若手音楽家の定住促進を行う。

2 団体概要

- (1) 名称 協同組合 Biz. Coop. はまだ
- (2) 代表者 代表理事 樫山 陽介
- (3) 所在地 浜田市新町 62 番地（旧日本海信用金庫新町支店 2 階）
- (4) 組合員 一般社団法人石見音楽文化振興会、社会福祉法人誠和会、社会福祉法人日脚保育園、株式会社サンフラワーズ（4 事業者）
- (5) 設立 令和 2 年 11 月 8 日
- (6) 事業開始 令和 3 年 4 月 1 日

3 派遣職員の状況について

- (1) 令和 8 年度派遣職員人数 5 人（うち新規採用 3 人）
- (2) 令和 3 年度から令和 8 年度までの雇用状況

年度	雇用状況※		
	採用	継続	退職
令和 3 年度	8 人	0 人	8 人
令和 4 年度	4 人	0 人	4 人
令和 5 年度	5 人	0 人	5 人
令和 6 年度	3 人	0 人	3 人
令和 7 年度	3 人	2 人	1 人
令和 8 年度	3 人	-	-
合計	26 人	2 人	21 人

※ 令和 8 年 4 月 1 日現在

- (3) 退職済派遣職員の退職直後の動向

居住地区分	人数	備考
市内居住	14 人	組合員事業所に就職 10 人
		市内で就職又は起業 3 人
		市外で就職 1 人
県内居住	4 人	組合員事業所に就職 4 人
県外に転出	3 人	
合計	21 人	

令和7年度浜田市まちなか交流プラザ利用状況について

1 利用実績について

(1) 交流スペース

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計	月平均
利用者数 (人)	令和7年度	805	971	1074	1,077	1,042	1,171	1,122	1,040	1,040	1,077	1,120	947	12,486	1040.5
	令和6年度	706	883	991	885	881	1,008	863	1,033	796	850	1,012	863	10,771	897.6
	対前年比 (%)	114.0%	110.0%	108.4%	121.7%	118.3%	116.2%	130.0%	100.7%	130.7%	126.7%	110.7%	109.7%	115.9%	115.9%
	令和5年度				17	522	691	987	1,013	742	893	894	583	6,342	790.6
令和7年度 平均利用者数(人/日)		26.8	31.3	35.8	34.7	33.6	39.0	36.2	34.7	37.1	38.5	41.5	30.5		34.9

(2) セミナールーム

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計	月平均
利用件数 (件)	令和7年度	29	29	33	34	32	34	42	32	27	23	27	28	370	30.8
	令和6年度	21	23	31	28	28	22	26	30	25	25	27	27	313	26.1
	対前年比 (%)	138.1%	126.1%	106.5%	121.4%	114.3%	154.5%	161.5%	106.7%	108.0%	92.0%	100.0%	103.7%	118.2%	118.0%
	令和5年度				0	11	22	28	39	28	22	20	25	195	24.4
利用者数 (人)	令和7年度	281	312	383	425	260	319	409	284	262	221	203	348	3,707	308.9
	令和6年度	230	230	321	313	231	253	310	296	261	258	275	417	3,395	282.9
	対前年比 (%)	122.2%	135.7%	119.3%	135.8%	112.6%	126.1%	131.9%	95.9%	100.4%	85.7%	73.8%	83.5%	109.2%	109.2%
	令和5年度				0	118	296	362	430	295	347	227	336	2411	301.4

※施設開館日：令和5年7月30日

(令和8年3月31日現在)

※休館日：12月29日～1月3日

※臨時休館日：令和8年2月1日(商工会館電気工事のため)

2 セミナールームの活用状況について

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	主な事業
1 協働のまちづくり推進事業 (市民による自主企画事業など)	18件	26件	51件	・学生×地域ご縁広場 ・モルック体験会 ・ワークショップ
2 大学を核としたまちづくり推進事業 (地域とのワークショップやゼミ活動など)	11件	27件	34件	・県立大学公開講座 ・県立大学サークル活動
3 高校魅力化・高大連携事業 (高校生・大学生の交流、連携事業など)	18件	7件	19件	・Y.A.C(高校の垣根を 超えた地域系部活動) ・まちなかキャンパス
4 商工団体との連携事業 (学生の地元就職を促す企画の実施など)	11件	25件	15件	・はまだ起業家育成塾 ・プチ操業セミナー
5 社会教育事業 (地域活動団体の連携・交流事業など)	56件	123件	125件	・スマホサロン ・介護予防体操 ・英語サークル浜田
6 その他(会議など)	81件	105件	126件	
合 計	195件	313件	370件	



島根県立大学学生主催
「学生×地域 ご縁広場」



はまだ協働学舎ファンタス主催
「SHIMANEみらい共創CHALLENGE」



島根県立大学連携交流課主催
「公開講座」



しまね県大政経塾主催
「浜田市内の小中高生の主権者教育」



島根県立大学eスポーツサークルEWLG主催
「eスポーツイベント」



Youth Activist Club 主催
「交流会」



浜田商工会議所主催
「後継者・若手経営者のための財務入門セミナー」



英語サークル浜田主催
「子どもたちが英語に親しむイベント」

3 利用者の声

- ・21時まで開館しているので助かる。
- ・交流スペースは、食事をしながら過ごせるので居やすい。
- ・駅周辺は会議室が少なく、ここは設備(モニター、Wi-Fiなど)が整っているので助かる。
- ・放課後に大学生と交流できるのがうれしい。

令和 7 年度敬老福祉乗車券交付事業及び運転免許証自主返納等支援事業の
 申請実績等について

1 敬老福祉乗車券交付事業

(1) 事業開始 平成 28 年 7 月 1 日

(2) 事業概要

市内に住所を有する 70 歳以上の高齢者等に対して市内の公共交通機関で利用できる、
 1 冊 3,000 円分の乗車券を 1,500 円で交付するもの

※ 交付上限数は、平成 30 年度は 10 冊又は 12 冊、令和元年度から 10 冊又は 15 冊、令和 5 年
 10 月から 15 冊又は 20 冊（平成 30 年度から上限数は住所地によって異なる。）

※ 令和元年度から制度内容を一部変更（高速バスでの利用等）

(3) 申請実績

ア 高齢者

カッコ内：令和 6 年度からの増減

地域	年度	申請者数 ①	交付冊数 ②	1 人当 交付冊数 ②/①	対象者数 ③	交付率 ①/③
浜田	令和 7 年度	2,339 人 (▲576 人)	22,033 冊 (▲6,555 冊)	9.4 冊 (▲0.4 冊)	10,532 人 (▲122 人)	22.2% (▲5.2%)
	令和 6 年度	2,915 人	28,588 冊	9.8 冊	10,654 人	27.4%
	令和 5 年度	2,406 人	20,462 冊	8.5 冊	10,813 人	22.3%
金城	令和 7 年度	195 人 (▲54 人)	1,914 冊 (▲663 冊)	9.8 冊 (▲0.5 冊)	1,327 人 (▲11 人)	14.7% (▲3.9%)
	令和 6 年度	249 人	2,577 冊	10.3 冊	1,338 人	18.6%
	令和 5 年度	206 人	1,938 冊	9.4 冊	1,342 人	15.4%
旭	令和 7 年度	118 人 (▲60 人)	843 冊 (▲594 冊)	7.1 冊 (▲1.0 冊)	856 人 (▲7 人)	13.8% (▲6.8%)
	令和 6 年度	178 人	1,437 冊	8.1 冊	863 人	20.6%
	令和 5 年度	151 人	1,084 冊	7.2 冊	879 人	17.2%
弥栄	令和 7 年度	76 人 (▲25 人)	615 冊 (▲341 冊)	8.1 冊 (▲1.4 冊)	462 人 (▲8 人)	16.5% (▲5.0%)
	令和 6 年度	101 人	959 冊	9.5 冊	470 人	21.5%
	令和 5 年度	99 人	866 冊	8.8 冊	479 人	20.7%
三隅	令和 7 年度	241 人 (▲117 人)	2,022 冊 (▲1,454 冊)	8.4 冊 (▲1.3 冊)	1,920 人 (▲43 人)	12.6% (▲5.6%)
	令和 6 年度	358 人	3,476 冊	9.7 冊	1,963 人	18.2%
	令和 5 年度	292 人	2,553 冊	8.7 冊	1,963 人	14.9%
合計	令和 7 年度	2,969 人 (▲832 人)	27,427 冊 (▲9,610 冊)	9.2 冊 (▲0.5 冊)	15,097 人 (▲191 人)	19.7% (▲5.2%)
	令和 6 年度	3,801 人	37,037 冊	9.7 冊	15,288 人	24.9%
	令和 5 年度	3,154 人	26,903 冊	8.5 冊	15,476 人	20.4%

※ 対象者数は、各年度の 3 月 31 日現在

イ 69歳以下の障がい者無料交付対象者購入分

地域	年度	申請者数 ①	交付冊数 ②	1人当 交付冊数 ②/①	対象者数 ③	交付率 ①/③
浜田	令和7年度	80人 (+4人)	722冊 (▲22冊)	9.0冊 (▲0.8冊)	760人 (▲38人)	10.5% (+1.0%)
	令和6年度	76人	744冊	9.8冊	798人	9.5%
	令和5年度	74人	611冊	8.3冊	751人	9.9%
金城	令和7年度	9人 (±0人)	102冊 (▲17冊)	11.3冊 (▲1.9冊)	94人 (▲8人)	9.6% (+0.8%)
	令和6年度	9人	119冊	13.2冊	102人	8.8%
	令和5年度	7人	93冊	13.3冊	95人	7.4%
旭	令和7年度	1人 (±0人)	20冊 (+3冊)	20.0冊 (+3.0冊)	22人 (▲7人)	4.5% (+1.2%)
	令和6年度	1人	17冊	17.0冊	29人	3.4%
	令和5年度	1人	16冊	16.0冊	30人	3.3%
弥栄	令和7年度	1人 (±0人)	20冊 (+8冊)	20.0冊 (+8.0冊)	9人 (+1人)	11.1% (▲1.4%)
	令和6年度	1人	12冊	12.0冊	8人	12.5%
	令和5年度	1人	1冊	1.0冊	8人	12.5%
三隅	令和7年度	5人 (+人)	60冊 (+17冊)	12.0冊 (+1.2冊)	91人 (▲8人)	5.5% (+1.5%)
	令和6年度	4人	43冊	10.8冊	99人	4.0%
	令和5年度	5人	63冊	12.6冊	107人	4.7%
合計	令和7年度	96人 (+5人)	924冊 (▲11冊)	9.6冊 (▲0.7冊)	976人 (▲60人)	9.8% (+1.0%)
	令和6年度	91人	935冊	10.3冊	1,036人	8.8%
	令和5年度	88人	784冊	8.9冊	991人	8.9%

(4) 乗車券の利用実績

交通種別	利用額	割合
路線バス (路線バス、高速バス、おおなんバス)	21,575,700円	23.1%
タクシー (タクシー、福祉有償運送)	69,382,100円	74.3%
市主管交通 (市生活路線バス、市乗合タクシー)	2,319,300円	2.5%
自治会輸送	140,400円	0.1%
合計	93,417,500円	100.0%

※ 障がい者への乗車券無料交付分及び運転免許証自主返納等支援事業分の利用を含む。

(5) 参考：障がい者無料交付分

(健康福祉部高齢障がい福祉課提供)

ア 申請実績

カッコ内：令和6年度からの増減

地域	年度	申請者数 (A)	対象者数 (C)	交付率 (A/C)
浜田	令和7年度	684人 (▲77人)	1,318人 (▲11人)	51.9% (▲5.4%)
	令和6年度	761人	1,329人	57.3%
	令和5年度	656人	1,336人	49.1%
金城	令和7年度	39人 (▲3人)	178人 (+2人)	21.9% (▲2.0%)
	令和6年度	42人	176人	23.9%
	令和5年度	40人	171人	23.4%
旭	令和7年度	12人 (▲2人)	69人 (▲5人)	17.4% (▲1.5%)
	令和6年度	14人	74人	18.9%
	令和5年度	12人	80人	15.0%
弥栄	令和7年度	6人 (▲3人)	42人 (+3人)	14.3% (▲8.8%)
	令和6年度	9人	39人	23.1%
	令和5年度	15人	41人	36.6%
三隅	令和7年度	36人 (▲14人)	199人 (+2人)	18.1% (▲6.8%)
	令和6年度	50人	201人	24.9%
	令和5年度	45人	205人	22.0%
合計	令和7年度	777人 (▲99人)	1,806人 (▲13人)	43.0% (▲5.2%)
	令和6年度	876人	1,819人	48.2%
	令和5年度	768人	1,833人	41.9%

イ 交付冊数

年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
交付冊数	4,129冊	4,589冊	4,029冊

2 運転免許証自主返納等支援事業

(1) 事業開始 平成29年1月4日

(2) 事業概要

敬老福祉乗車券交付対象者のうち、平成28年7月1日以後に全ての運転免許証を自主返納又は運転免許を失効した人に対して敬老福祉乗車券5冊(15,000円分)を無料で交付するもの

※ 返納又は失効後1回に限り交付

※ 令和2年度から運転免許を失効した人を対象に追加

(3) 申請実績

ア 地域別

カッコ内：運転免許を失効した人の申請者数〔内数〕

年度 \ 地域	浜田	金城	旭	弥栄	三隅	合計
令和7年度	186人	11人	11人	6人	18人	232人
	(13人)	(1人)	(0人)	(0人)	(1人)	(15人)
令和6年度	244人	20人	10人	9人	35人	318人
令和5年度	104人	9人	5人	2人	15人	135人
令和4年度	236人	20人	5人	4人	22人	287人
令和3年度	128人	10人	14人	8人	12人	172人
令和2年度	186人	15人	16人	15人	32人	264人
令和元年度	291人	24人	19人	14人	54人	402人
平成30年度	135人	12人	9人	9人	19人	184人
平成29年度	195人	17人	23人	11人	27人	273人
平成28年度	111人	12人	4人	6人	12人	145人
合計	1,816人	150人	116人	84人	246人	2,412人

イ 免許返納等の時期別

カッコ内：令和7年度の申請者数〔内数〕

免許返納等の時期	人数	令和7年度の申請者の内訳	
		返納	失効
令和7年度 (令和7年4月1日～令和8年3月31日)	206人 (206人)	198人	8人
令和6年度 (令和6年4月1日～令和7年3月31日)	247人 (18人)	14人	4人
令和5年度 (令和5年4月1日～令和6年3月31日)	206人 (1人)	1人	0人
令和4年度 (令和4年4月1日～令和5年3月31日)	236人 (5人)	3人	2人
令和3年度 (令和3年4月1日～令和4年3月31日)	265人 (2人)	1人	1人
令和2年度 (令和2年4月1日～令和3年3月31日)	216人 (0人)	0人	0人
令和元年度 (平成31年4月1日～令和2年3月31日)	343人 (0人)	0人	0人
平成30年度 (平成30年4月1日～平成31年3月31日)	246人 (0人)	0人	0人
平成29年度 (平成29年4月1日～平成30年3月31日)	272人 (0人)	0人	0人
平成28年度 (平成28年7月1日～平成29年3月31日)	175人 (0人)	0人	0人
合計	2,412人 (232人)	217人	15人

3 公共交通チケット交付事業

(1) 事業開始 令和7年4月1日（物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金事業）

(2) 事業概要

市内に住所を有する70歳以上の高齢者等に対して、市内の公共交通機関で利用できる1冊3,000円分の乗車券を1,000円で交付するもの。

※ 交付上限数は、2冊までとし申請回数は1回とする。

(3) 申請実績

地域	対象	申請者数 ①	交付冊数 ②	対象者数 ③	交付率 ①/③
浜田	70歳以上	2,442人	4,770冊	10,532人	23.2%
	69歳以下障がい者	70人	135冊	760人	9.2%
	小計	2,512人	4,905冊	11,292人	22.2%
金城	70歳以上	233人	443冊	1,327人	17.6%
	69歳以下障がい者	4人	8冊	94人	4.2%
	小計	237人	451冊	1,421人	16.7%
旭	70歳以上	136人	256冊	856人	15.9%
	69歳以下障がい者	1人	2冊	22人	4.5%
	小計	137人	258冊	878人	15.6%
弥栄	70歳以上	74人	147冊	462人	16.0%
	69歳以下障がい者	0人	0冊	9人	0%
	小計	74人	147冊	471人	15.7%
三隅	70歳以上	271人	523冊	1,920人	14.1%
	69歳以下障がい者	1人	2冊	91人	1.1%
	小計	272人	525冊	2,011人	13.5%
合計	70歳以上	3,156人	6,139冊	15,097人	20.9%
	69歳以下障がい者	76人	147冊	976人	7.8%
	小計	3,232人	6,286冊	16,073人	20.1%

(4) 乗車券の利用実績

交通種別	利用額	割合
路線バス（路線バス、高速バス、おおなんバス）	6,559,800円	36.7%
タクシー（タクシー、福祉有償運送）	10,846,100円	60.7%
市主管交通（市生活路線バス、市乗合タクシー）	464,900円	2.6%
自治会輸送	8,500円	0.0%
合計	17,879,300円	100.0%
販売チケット額面 6,286冊×3,000円	18,858,000円	94.8%

令和7年度浜田市生活路線バス等の利用実績について

1 浜田市生活路線バスの利用実績

路線名	系統名等	利用者数 [A]			運行便数 [B] (上段: 令和6年度実績)	1便当たり利用者数 [A/B]
		令和6年度	令和7年度	増減 [前年度比]		
浜田	櫛田原線	767人	654人	▲ 113人 [85.3%]	(2,166便) 2,166便	(0.4人) 0.3人
	有福線	7,014人	6,702人	▲ 312人 [95.6%]	(3,022便) 3,040便	- 2.2人
	小 計	7,781人	7,356人	▲ 425人 [94.5%]	(5,188便) 5,206便	(1.5人) 1.4人
金城		673人	695人	22人 [103.3%]	(744便) 745便	(0.9人) 0.9人
旭	木田線	24人	23人	▲ 1人 [95.8%]	(344便) 346便	(0.1人) 0.1人
	戸川線	2,188人	2,129人	▲ 59人 [97.3%]	(1,444便) 1,427便	(1.5人) 1.5人
	瑞穂線(SB)	447人	727人	280人 [162.6%]	(688便) 702便	(0.6人) 1.0人
	小 計	2,659人	2,879人	220人 [108.3%]	(2,476便) 2,475便	(1.1人) 1.2人
旭浜田		7,748人	8,576人	828人 [110.7%]	(2,166便) 2,166便	(3.6人) 4.0人
弥栄野原		1,580人	1,011人	▲ 569人 [64.0%]	(2,512便) 2,452便	(0.6人) 0.4人
三隅	循環線	11,507人	12,604人	1,097人 [109.5%]	(3,730便) 3,736便	(3.1人) 3.4人
	井野室谷線	125人	81人	▲ 44人 [64.8%]	(105便) 100便	(1.2人) 0.8人
	諸谷平原線	119人	90人	▲ 29人 [75.6%]	(100便) 100便	(1.2人) 0.9人
	平原森溝線	17人	5人	▲ 12人 [29.4%]	(86便) 86便	(0.2人) 0.1人
	白砂西河内線	229人	138人	▲ 91人 [60.3%]	(190便) 186便	(1.2人) 0.7人
	井野三隅線	618人	541人	▲ 77人 [87.5%]	(619便) 564便	(1.0人) 1.0人
	周布地今明線	554人	516人	▲ 38人 [93.1%]	(372便) 372便	(1.5人) 1.4人
	石浦小原線	217人	137人	▲ 80人 [63.1%]	(208便) 200便	(1.0人) 0.7人
	黒沢矢原線	1,664人	1,433人	▲ 231人 [86.1%]	(1,573便) 1,541便	(1.1人) 0.9人
	黒沢小原線	906人	744人	▲ 162人 [82.1%]	(310便) 291便	(2.9人) 2.6人
	矢原岡見線	192人	176人	▲ 16人 [91.7%]	(100便) 102便	(1.9人) 1.7人
	岡見海老谷線	236人	189人	▲ 47人 [80.1%]	(100便) 100便	(2.4人) 1.9人
	小 計	16,384人	16,654人	270人 [101.6%]	(7,493便) 7,378便	(2.2人) 2.3人
合 計		36,825人	37,171人	346人 [100.9%]	(20,579便) 20,422便	(1.8人) 1.8人

注) 浜田路線及び旭浜田路線においては、児童生徒の利用あり

2 浜田市予約型乗合タクシーの利用実績

地域	地区名等	利用者数 [A]			計画便数 [B]	運行便数 [C]	稼働率 [C/B]	1便当たり利用者数 [A/B]
		令和6年度	令和7年度	増減 〔前年度比〕				
								(上段:令和6年度実績)
	美川線	175人	190人	15人 〔108.6%〕	(432便) 429便	(130便) 133便	(30.1%) 31.0%	(0.4人) 0.4人
	石見東線	467人	464人	▲ 3人 〔99.4%〕	(400便) 404便	(265便) 228便	(66.3%) 56.4%	(1.2人) 1.1人
	小 計	642人	654人	12人 〔101.9%〕	(832便) 833便	(395便) 361便	(47.5%) 43.3%	(0.8人) 0.8人
金城	小国・波佐線	162人	132人	▲ 30人 〔81.5%〕	(864便) 858便	(108便) 97便	(12.5%) 11.3%	(0.2人) 0.2人
	美又線	259人	231人	▲ 28人 〔89.2%〕	(146便) 148便	(104便) 102便	(71.2%) 68.9%	(1.8人) 1.6人
	久佐線	263人	311人	48人 〔118.3%〕	(200便) 202便	(112便) 109便	(56.0%) 54.0%	(1.3人) 1.5人
	小 計	684人	674人	▲ 10人 〔98.5%〕	(1,210便) 1,208便	(324便) 308便	(26.8%) 25.5%	(0.6人) 0.6人
旭	木田・山ノ内線	288人	240人	▲ 48人 〔83.3%〕	(84便) 84便	(72便) 77便	(85.7%) 91.7%	(3.4人) 2.9人
	和田線	159人	211人	52人 〔132.7%〕	(108便) 106便	(78便) 90便	(72.2%) 84.9%	(1.5人) 2.0人
	坂本・都川線	77人	110人	33人 〔142.9%〕	(126便) 124便	(37便) 44便	(29.4%) 35.5%	(0.6人) 0.9人
	市木・来尾線	62人	68人	6人 〔109.7%〕	(48便) 48便	(30便) 24便	(62.5%) 50.0%	(1.3人) 1.4人
	今市線	110人	149人	39人 〔135.5%〕	(24便) 24便	(24便) 24便	(100.0%) 100.0%	(4.6人) 6.2人
	丸原・栄線	44人	87人	43人 〔197.7%〕	(24便) 24便	(16便) 24便	(66.7%) 100.0%	(1.8人) 3.6人
	小 計	740人	865人	125人 〔116.9%〕	(414便) 410便	(257便) 283便	(62.1%) 69.0%	(1.8人) 2.1人
弥栄	横谷・程原線	268人	244人	▲ 24人 〔91.0%〕	(88便) 82便	(83便) 80便	(94.3%) 97.6%	(3.0人) 3.0人
	山賀・畑線	314人	213人	▲ 101人 〔67.8%〕	(100便) 98便	(94便) 88便	(94.0%) 89.8%	(3.1人) 2.2人
	田野原・的野線	183人	193人	10人 〔105.5%〕	(100便) 96便	(95便) 92便	(95.0%) 95.8%	(1.8人) 2.0人
	安城・杵束線 (眼科便)	23人	6人	▲ 17人 〔26.1%〕	(24便) 20便	(14便) 6便	(58.3%) 30.0%	(1.0人) 0.3人
	小 計	788人	656人	▲ 132人 〔83.2%〕	(312便) 296便	(286便) 266便	(91.7%) 89.9%	(2.5人) 2.2人
合 計		2,854人	2,849人	▲ 5人 〔99.8%〕	(2,768便) 2,747便	(1,262便) 1,218便	(45.6%) 44.3%	(1.0人) 1.0人

JR 山陰本線（益田－出雲市間）利用促進協議会の設立について

J R 山陰本線の益田駅－出雲市駅間の沿線自治体では人口減少が進み、それに加え、2020 年以降の同区間の輸送密度は 1,000 人/日を割り込み、J R 西日本が公表している路線（区間）の中で赤字幅は大きいものとなっています。

このため、今後の路線維持などのため一層の利用促進が必要な状況であることを沿線市それぞれが危機感を持ち、また、益田以西では JR 山口線や、同じく JR 山陰本線下関－益田間で利用促進協議会が設立され、活動しておられることもあり、益田－出雲市間でも広域的に利用促進策を推進するため 4 月 13 日（月）に設立総会を開催しましたので報告します。

1 協議会委員及びオブザーバー

区分	所属団体及び職名
沿線地方自治体	浜田市 市長（会長）
	出雲市 市長（副会長）
	益田市 市長（副会長）
	大田市 市長（副会長）
	江津市 市長（監事）
鉄道事業者	西日本旅客鉄道株式会社山陰支社 支社長
県	島根県 地域振興部長（オブザーバー）

2 実施事業及び予算

(1) マイレール意識醸成

沿線地域住民のマイレール意識を醸成し、日常利用を促進する。

(2) 魅力発信

鉄道の魅力や沿線地域の観光資源等、JR 山陰本線に関する情報を地域内外へ積極的に発信する。

(3) 予算

構成 5 市がそれぞれ 300,000 円の負担金拠出し、島根県から 300,000 円の補助金をいただき、計 1,800,000 円で予算編成



浜田市地域協議会委員の選任について

令和8年4月1日から2年間の任期中、次のとおり浜田市地域協議会委員を選任し、各地域の正副会長が決定しましたので報告します。

浜田市地域協議会委員名簿

【任期】令和8年4月1日～令和10年3月31日（2年間）

（敬称略）

地域	役職	氏名（ふりがな）
浜田 15人	会長	新田 哲朗 (しんた てつろう)
	副会長	磯野 光孝 (いその みつたか)
		後山 博美 (うしろやま ひろみ)
		江口 修吾 (えぐち しゅうご)
		沖田 健治 (おきた けんじ)
		表田 力 (おもた ちから)
		後藤 敏雄 (ごとう としお)
		佐古 肇徳 (さこ はつよし)
		佐々木 和文 (ささき かずふみ)
		高松 彰夫 (たかまつ あきお)
		長谷川 真美 (はせがわ まみ)
		原田 豊 (はらだ ゆたか)
		三浦 美穂 (みうら みほ)
		宮木 竜一 (みやき りゅういち)
		村井 栄美子 (むらい えみこ)
金城 15人	会長	中芝 清張 (なかしば きよはる)
	副会長	宮本 秀弘 (みやもと ひでひろ)
		浅野 正志 (あさの まさし)
		上畠 勇人 (うえはた はやと)
		小川 慎二 (おがわ しんじ)
		栗栖 加代子 (くりす かよこ)
		栗栖 龍之助 (くりす りゅうのすけ)
		柳楽 哲見 (なぎら てつみ)
		花田 實 (はなだみのる)
		堀越 保幸 (ほりごし やすゆき)
		丸田 保恵 (まるた やすえ)
		宮本 沙織 (みやもと さおり)
		山本 典子 (やまもと のりこ)
		山本 宏明 (やまもと ひろあき)
		横山 孝三 (よこやま たかみ)
旭 15人	会長	今田 康博 (いまだ やすひろ)
	副会長	坂根 国博 (さかね くにひろ)
		阿瀬川 保 (あせがわ たもつ)
		大賀 泰司 (おおが やすじ)
		小林 ひろみ (こばやし ひろみ)
		才野原 和美 (さいのほら かずみ)
		澤津 真由子 (さわづ まゆこ)
		田村 邦麿 (たむら くにまる)
		鶴岡 千穂美 (つるおか ちほみ)
		寺本 己幸 (てらもと みゆき)
		長澤 久美子 (ながさわ くみこ)
		野村 英司 (のむら えいじ)
		向井 満樹 (むかい みつき)
		湯浅 富広 (ゆあさ とみひろ)
		芳川 守 (よしかわ まもる)

地域	役職	氏名（ふりがな）
弥栄 12人	会長	久谷 義美 (くたに よしみ)
	副会長	竹岡 篤志 (たけおか あつし)
		今田 貴志江 (いまだ きしえ)
		小笠原 詞子 (おがさわら のりこ)
		太田 章彦 (おおた あきひこ)
		太田 梨香 (おおた りか)
		金高 美香 (かねたか みか)
		小松原 峰雄 (こまつばら みねお)
		小松原 実 (こまつばら みのる)
		田中 真也 (たなか しんや)
		徳田 祐基 (とくだ ゆうき)
		三浦 寿紀 (みうら ひさのり)
三隅 15人	会長	石川 正史 (いしかわ まさし)
	副会長	丸山 義尚 (まるやま よしなお)
		荒木 聖子 (あらかき さとこ)
		石本 匡 (いしもと きょう)
		大山 達也 (おおやま たつや)
		岡田 綾子 (おかだ あやこ)
		串崎 美之 (くしざき みゆき)
		久保田 郁人 (くぼた いくと)
		栗山 恭徳 (くりやま たかのり)
		河野 祐子 (こうの ゆうこ)
		永見 孔 (ながみ とおる)
		富金原 美和子 (ふきんばら みわこ)
		三浦 幸治 (みうら こうじ)
		三浦 茂紀 (みうら しげのり)
		分石 由紀江 (わけいし ゆきえ)

※ 網掛け：新任委員